

令和8年8月31日

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...

2026夏の“武者修行”第二弾&トレーニング全日程が終了!!

選手権二回戦 VS 明治学院まであと三週間!!

2026 選手権一次トーナメント二回戦 VS明治学院 12:30 kick off!!

厳しい夏のトレーニング成果を全て出し“K's football style”で闘う!!

第105回選手権予選一次トーナメント初戦 VS 晴海総合高校は相手の都合により不戦勝となり、労せずして二回戦へ進出、対戦相手は明治学院となりました。少し拍子抜けというのか肩透かしに合った感もありますが、次戦まで三週間あるので気持ちを切り替えて、いい準備をして迎えたいと思います。ホームグラウンドの片倉高校で行われました。今年の夏はここ数年の中では猛暑日も少なく、比較的トレーニング&TRMはやりやすかったのではないかと思います（菅平合宿中が東京が一番暑かったようです）。菅平合宿後は、各フェスティバルへ参加し、サッカー部恒例である数多くのトレーニングマッチも組み、例年ほどではありませんが“武者修行”でたくさん揉まれてきました。そして、“片倉の夏”を越えるとサッカー部はもの凄い成長を遂げます。もちろん成長にはゴールはありません。しかし、どんなにいい準備をしても、三年生にとっての選手権は特別な思いで迎え、緊張するものです。ここから恵の時間を手に入れたので「K's football style」を、更に大きく進化させていきたいと思います。

次戦は、9月20日（日）NICHIBUN SAKURA FIELD グラウンドで 12:30 kick off です。

最後は最上級生(53期)の気持ちが大事な勝負を分ける!!

公式戦では楽に勝てるゲームは一つありません。どのチームも勝利を目指して大会に臨めます。選手権予選ともなれば、最上級生である三年生の気持ちが勝利を手繰り寄せます。選手権大会はサッカー少年たちにとってやはり特別なものです。高体連の大会は最後の公式戦になります。三年間培われた「人間力」が勝敗を分けるといっても過言ではありません。しかし、53期生は、人数が少ない上に、キャプテン禧久はとても良く気は使えるのですが、強いリーダーシップを発揮できずに、53期の代になってからはチームの纏まりやこの七年間積み上げてきたものが崩れ始めています。特に、夏合宿ではそれが顕著に現れていました。今年のチームは人数も少なく今までと比較しても技術面ではレベルダウンしている現実には向け合わなければなりません、結果が出せない要因が、片倉高校サッカー部が代々大切にきたベースの部分「凡事徹底」だということに気が付かなければなりません。54期・55期生は更に人数が少なくなります。心配ですね。

それでも、二年ぶりの選手権二次トーナメントに向けて結果をチーム一丸となって掴み取りたいと思います。ここまで積み上げてきたものを選手権という舞台上で平常心と謙虚さを持ちながら思う存分発揮できるように臨みたいと思います。



⚽ いつの時代もやはり男はダボスなのだ ⚽

選手権の最終チェックに向け“ニッケンホールディングス杯”に参戦 in 戸田

8月19～21日の三日間、『第二回 ニッケンホールディングス杯』が埼玉県戸田市にある惣右衛門公園サッカー場で行われました。昨年度からスタートしたこの大会には、埼玉、千葉、神奈川、東京から参加した7チームが、一日2ゲーム総当たりで行い順位を決定します。25分ハーフのゲームは公式戦より時間が短い分強度が高くなるので、選手権前の最後の重要なゲームとして位置付け、チームが新たに取り組んでいることにもチャレンジできた収穫の多いフェスティバルとなりました。今年度関東大会に出場した慶應高校や早々に退場者を出して10人で戦うことになった国分高校戦、T4の國學院久我山、これからの埼玉県の勢力図を変えると意気込んでいる穎明高校など、実力派チームとも十分に渡り合えたことは選手権に向けて明るい話題です。最終的には昨年度同様の2勝3敗1分の勝ち点7最終順位は4位という結果で終わりました。

15名と人数が少ない中、怪我人やコンディション不足もいてGKをフィールドプレーヤーで出場させるなど厳しい状況の中で臨んだ今大会でしたが予想以上の成果が現れたと思っています。9月からスタートする選手権に向けていよいよ最終段階。この夏のフェスティバルやTRMの課題を整理して、この三週間は二次トーナメント進出のために準備をしていきたいと思います。



🏆 第二回ニッケンホールディングス杯は、厳しい状況下の中選手権に向けてのいい大会となった 🏆

<After the Game>

2026年夏休みも恒例の“虎の穴”菅平合宿からスタートして、二回に亘る“武者修行”も30日の日野台戦をもって無事に終了しました。チームは16名と少数にも関わらず、この夏は全員が揃うことが殆どない厳しい状況が続きましたが、お相手をしていただいた多くのチームやサッカー仲間・選手には大変お世話になりました。そのお陰もあり、夏休み最後の日野台戦はいいゲームをすることができました。三週間後に延びた選手権一次予選に向けてチームはとても良い状態で挑むことができます。そして、必ず結果につなげ二年ぶりの二次トーナメント進出を目指します。今年も熱い熱い熱い応援を宜しくお願いします。

さて、この夏休み中に、三年前に卒業したサッカー部の生徒から、小学校の教員採用試験に合格したとの連絡。高校時代は大きな怪我に泣かされて活躍を期待されていた私立の強豪校から残念ながら片倉に余儀なく転校してきました。手術後、二年間の辛いリハビリと並行しながら、チームの裏方に回り仲間をサポートすることができる人望の厚い選手でした。その甲斐もあり、高校サッカー最終ゲームに10分間だけ出場することができました。現在は、大学に通いながら自分の出身チームのコーチをしています。

是非、高校時代のこの貴重な体験を活かして、精神的な強さの中にも優しさのある先生になって欲しいものです。期待しています!!



🏆 先輩たちの成績を超え、新たな歴史を作ろう 🏆